

<在住者> 里山環境の保全・活用に関する意識調査

アンケートへのご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
町田市では 2011 年 3 月に町田市北部丘陵活性化計画を策定し「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山をめざして」を目標像に掲げ取り組みを進めてまいりました。

社会環境が大きく変化する中、市内には昔ながらの「里山」の環境が残っており、多くの方が訪れています。そこで、町田市では東京都内で「都心から一番近い里山」の資源を活かし、里山の持続可能な保全につなげる方策について検討を進めています。

本調査は、市民の皆さまが、市内の里山について、どのようなご意見や考えをお持ちいただいているかを伺い、調査の結果は、2021 年度に策定する「(仮称) 町田市里山環境活用保全計画」の参考として活用することを目的としています。

調査の対象は、小野路町・上小山田町・下小山田町の約 3,000 世帯を無作為に選ばせていただき、回答は、18 歳以上の方を 1 世帯につき 2 名様までをお願いすることとしました。

本調査は無記名の調査となります。ご記入いただきました内容は統計的に処理するため、回答により個人が特定されることはありません。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



2020 年 11 月

町田市長 石阪丈一

ご記入にあたってのお願い

- 1 同一世帯において、できるだけ、世代や性別が異なる複数の方（2 名様まで）に回答をお願いいたします。
- 2 回答はこの調査票に直接ご記入ください。
- 3 回答はあてはまる番号を「○」で囲んでいただく形式と回答欄に記述していただく形式があります。
- 4 「その他」に「○」をつけた場合は（ ）の中に具体的な回答を記述してください。
- 5 ご記入が終わりましたら同封の返信用封筒【切手不要】に入れて、

2020 年 11 月○日（○）まで

にご投函ください。

【お問い合わせ】町田市経済観光部農業振興課北部・里山担当
TEL: 042-724-2164

里山の保全・活用の取組について

■里山とは



生活のために利用してきた山及び周辺の田畑のこと

■里山保全の取組



里山環境を保全する取組
(環境保全のほか農林業も含む)

■里山活用の取組



散策などのレクリエーションの
ほか農林業も含む

Ⅱ 里山での現状と今後について

問7 町田市の里山の現状について知っていることは以下のうちどれですか？

(○はいくつでも)

1. 農業従事者などが高齢化している
2. 耕作放棄地・管理放棄林が増加している
3. 多様な生物が生息する貴重な環境である
4. 多摩丘陵の原風景が残った貴重な場所である
5. 市内外に熱心なファンがいる
6. 自転車や散策で訪れる人が増えている
7. 市内でも一部にしか魅力が知られていない
8. その他 ()

問8 町田市の里山は今後どのような場所になるとよいと思いますか？(○は3つまで)

1. 幅広い世代の人が活躍する場所
2. 地域住民が活躍する場所
3. 農地や林地の管理が行き届いている場所
4. 多様な生物が生息できる環境が保全されている場所
5. 多摩丘陵の原風景、昔からの生活文化が残されている場所
6. 市内外に魅力が発信され、多くの人が訪れる場所
7. 自然の中で子どもが安心して遊べる場所
8. 自転車や散策を楽しむ人が多い場所
9. その他 ()

Ⅲ 里山での取組について

問9 里山環境を今後も残していくために重要だと思うキーワードは、以下のうちどれですか？(○は3つまで)

1. 農業体験
2. 地場産野菜
3. 散策(コース・案内・観光)
4. 飲食・交流
5. キャンプ、グランピング(備品や食材・食事などがあらかじめ用意されたキャンプ)
6. ワークेशन(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)
7. 木材(加工・販売)
8. 子どもの遊び・環境教育
9. 自転車(コース・レンタル・観光)
10. 自然環境の保全
11. 人材(活動をする人)

問10 里山環境を今後も残していくために市が力をいれて取り組めるとよいと思う事業は以下のうちどれですか？（○は3つまで）

1. 里山環境を保全・活用する人が活躍できる環境の整備
2. 里山環境で活躍する人同士や地域住民と交流を行う仕組みの整備
3. 里山環境を活用する企業や団体の誘致
4. 地域住民と来訪者などが交流できる環境の整備
5. 子どもの遊び場や環境教育の場の整備
6. 地域の雇用創出など経済的な循環を生み出すための支援
7. 鶴見川源流域の環境保全（河川の治水対策）
8. 多様な生物を育む空間、生物多様性の確保
9. 美しい丘陵の風景の保全・再生
10. 来訪のきっかけとなる里山の魅力的な情報発信
11. 余暇、休養の場としての里山環境の活用

問11 今後、里山での取組に関わる人が増えるようにするには、どのようなことがあるとよいと思いますか？（○は3つまで）

1. ポスター掲示やチラシ配布などにより、里山の魅力や情報を広く市民に発信する
2. 取組を行う市民、企業や団体を募集する
3. 取組を始める人を市が支援する
4. ボランティアの募集・育成を強化する
5. 大学・学校との連携を強化する
6. 里山活用の市民アイディアを募集する
7. 取組を行う人と土地の所有者を市がつなぐ
8. 散策等が楽しめる環境の整備、活用方策を強化する
9. 農産物の直売所の開設・運営支援を強化する
10. 環境教育の取組を充実する
11. その他（

自由記述

最後に、町田市の里山環境の保全と活用に関してご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

<来訪者> 里山環境の保全・活用に関する意識調査

アンケートへのご協力をお願い

●●●●●にお越しいただき（ご参加いただき）ありがとうございます。

町田市では 2011 年 3 月に町田市北部丘陵活性化計画を策定し「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山をめざして」を目標像に掲げ取り組みを進めてまいりました。

社会環境が大きく変化する中、市内には昔ながらの「里山」の環境が残っており、多くの方が訪れています。そこで、町田市では東京都内で「都心から一番近い里山」の資源を活かし、里山の持続可能な保全につなげる方策について検討を進めています。

本調査は、市民の皆さまが、市内の里山について、どのようなご意見やお考えをお持ちいただいているかを伺い、調査の結果は、2021 年度に策定する「（仮称）町田市里山環境活用保全計画」の参考として活用することを目的としています。

この調査は●●●●●に来訪された（ご参加された）方に回答をお願いしています。この調査は無記名の調査となります。ご記入いただきました内容は統計的に処理するため、回答により個人が特定されることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

2020 年 11 月

町田市長 石阪丈一



ご記入にあたってのお願い

- 1 回答はこの調査票に直接ご記入ください。
- 2 回答はあてはまる番号を「○」で囲んでいただく形式と回答欄に記述していただく形式があります。
- 3 「その他」に「○」をつけた場合は（ ）の中に具体的な回答を記述してください。
- 4 ご記入が終わりましたら同封の返信用封筒【切手不要】に入れて、

2020 年 11 月●日（●）まで

にご投函ください。

- 5 この場でご回答いただけた方は、施設職員（イベント主催者）にお渡しください

【お問い合わせ】町田市経済観光部農業振興課北部・里山担当
TEL: 042-724-2164

里山の保全・活用の取組について

■里山とは



生活のために利用してきた山及び周辺の田畑のこと

■里山保全の取組



里山環境を保全する取組
（環境保全のほか農林業も含む）

■里山活用の取組



散策などのレクリエーションの
ほか農林業も含む

里山環境の保全・活用に関する意識調査 調査票

I 来訪にあたって

問1 来訪にあたって、主にどのように情報を得ましたか？（○は1つ）

- | | | |
|----------------|-------------|-------------|
| 1. 市の情報誌（市報） | 2. 市のホームページ | 3. 活動団体の広報誌 |
| 4. 活動団体のホームページ | 5. SNS | 6. 知人・友人 |
| 7. その他（ ） | | |

問2 主にどの交通機関を利用しましたか？（○は1つ）

- | | | |
|--------|-------|------------|
| 1. 電車 | 2. バス | 3. 自動車・バイク |
| 4. 自転車 | 5. 徒歩 | 6. その他（ ） |

問3 ご自宅から来訪の目的地までどのくらいかかりましたか？（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|--------------|----------|

問4 本日の来訪の主な目的は何ですか？（○は1つ）

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. 散歩・散策 | 2. 風景を観に | 3. 休憩 |
| 4. 自然観察 | 5. 家族や友人と遊びに | 6. 催事・イベント |
| 7. 運動・スポーツ | 8. 犬の散歩 | 9. 写真撮影 |
| 10. その他（ ） | | |

問5 今回の目的での来訪は何回目になりますか？（○は1つ）

- | | | | |
|------------|-----------|------------|----------|
| 1. 今日がはじめて | 2. 2～5回未満 | 3. 5～10回未満 | 4. 10回以上 |
|------------|-----------|------------|----------|

II ご自身について

問6 あなたの性別は？（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問7 あなたの年齢は？（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

問8 あなたの職業は？（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 1. 会社員 | 2. 自営業 | 3. 学生 |
| 4. 主婦・主夫 | 5. 無職 | |

問9 あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 相原・小山地区 | (相原町・小山町・小山ヶ丘) |
| 2. 忠生・小山田地区 | (小山田桜台・上小山田町・木曽町・木曽西・木曽東・下小山田町・
図師町・忠生・常盤町・根岸・根岸町・矢部町・山崎・山崎町) |
| 3. 町田・玉川学園地区 | (玉川学園・旭町・南大谷・東玉川学園・中町・本町田・原町田・
森野・藤の台) |
| 4. 小野路・鶴川・
三輪地区 | (大蔵町・小野路町・金井・金井ヶ丘・真光寺・真光寺町・広袴・
広袴町・三輪町・三輪緑山・薬師台・鶴川・野津田町・能ヶ谷) |
| 5. 成瀬・南地区 | (小川・金森・金森東・高ヶ坂・つくし野・鶴間・成瀬・
成瀬が丘・成瀬台・南つくし野・南成瀬・西成瀬・南町田) |
| 6. 町田市外 → (自治体名： 最寄り駅：) | |

問 10 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、生活様式に次のような変化はありましたか？
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自宅にいる時間が増えた | 2. 人と会う機会が減った |
| 3. 近所に出歩く(散歩する)機会が増えた | 4. 自転車に乗る機会が増えた |
| 5. 地域の情報を入手する機会が増えた | 6. 特に変化はない |

Ⅲ 里山での現状と今後について

問 11 町田市の里山の現状について知っていることは以下のうちどれですか？
(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 農業従事者などが高齢化している |
| 2. 耕作放棄地・管理放棄林が増加している |
| 3. 多様な生物が生息する貴重な環境である |
| 4. 多摩丘陵の原風景が残った貴重な場所である |
| 5. 市内外に熱心なファンがいる |
| 6. 自転車や散策で訪れる人が増えている |
| 7. 市内でも一部にしか魅力が知られていない |
| 8. その他 () |

問 12 町田市の里山は今後どのような場所になるとよいと思いますか？ (○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 幅広い世代の人が活躍する場所 |
| 2. 地域住民が活躍する場所 |
| 3. 農地や林地の管理が行き届いている場所 |
| 4. 多様な生物が生息できる環境が保全されている場所 |
| 5. 多摩丘陵の原風景、昔からの生活文化が残されている場所 |
| 6. 市内外に魅力が発信され、多くの人を訪れる場所 |
| 7. 自然の中で子どもが安心して遊べる場所 |
| 8. 自転車や散策を楽しむ人が多い場所 |
| 9. その他 () |

Ⅳ 里山での取組について

問 13 里山環境を今後も残していくために重要だと思うキーワードは、以下のうちどれですか？ (○は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 農業体験 |
| 2. 地場産野菜 |
| 3. 散策(コース・案内・観光) |
| 4. 飲食・交流 |
| 5. キャンプ、グランピング(備品や食材・食事などがあらかじめ用意されたキャンプ) |
| 6. ワークेशन(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方) |
| 7. 木材(加工・販売) |
| 8. 子どもの遊び・環境教育 |
| 9. 自転車(コース・レンタル・観光) |
| 10. 自然環境の保全 |
| 11. 人材(活動をする人) |

問 14 里山環境を今後に残していくために市が力をいれて取り組めるとよいと思う事業は以下のうちどれですか？（○は3つまで）

1. 里山環境を保全・活用する人が活躍できる環境の整備
2. 里山環境で活躍する人同士や地域住民と交流を行う仕組みの整備
3. 里山環境を活用する企業や団体の誘致
4. 地域住民と来訪者などが交流できる環境の整備
5. 子どもの遊び場や環境教育の場の整備
6. 地域の雇用創出など経済的な循環を生み出すための支援
7. 鶴見川源流域の環境保全（河川の治水対策）
8. 多様な生物を育む空間、生物多様性の確保
9. 美しい丘陵の風景の保全・再生
10. 来訪のきっかけとなる里山の魅力的な情報発信
11. 余暇、休養の場としての里山環境の活用

問15 今後、里山での取組に関わる人が増えるようにするには、どのようなことがあるとよいと思いますか？（○は3つまで）

1. ポスター掲示やチラシ配布などにより、里山の魅力や情報を広く市民に発信する
2. 取組を行う市民、企業や団体を募集する
3. 取組を始める人を市が支援する
4. ボランティアの募集・育成を強化する
5. 大学・学校との連携を強化する
6. 里山活用の市民アイデアを募集する
7. 取組を行う人と土地の所有者を市がつなぐ
8. 散策等が楽しめる環境の整備、活用方を強化する
9. 農産物の直売所の開設・運営支援を強化する
10. 環境教育の取組を充実する
11. その他（

V 小野路宿里山交流館（配布対象のイベント）について ※要相談、下記は例

問16 再度訪れたい(参加したい)と思いますか? (○は1つ)

1. 訪りたい 2. 訪れたくない 3. どちらでもない

問 17 小野路宿里山交流館のホームページをご覧になったことはありますか？（○は1つ）

1. よく見ている 2. たまに見ている
3. 知っているがちゃんと見たことがない 4. あることを知らなかった

問 18 小野路宿里山交流館のSNSをご覧になったことはありますか？（○は1つ）

1. よく見ている
2. たまに見ている
3. 知っているがちゃんと見たことがない
4. あることを知らなかった

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。